コープみらい
食卓を笑顔に、地域を豊かに。

2017年3月7日
生活協同組合コープみらい

『東日本大震災』で被災された方々を支援
復興支援募金(2016年度)に1,698万8,832円が寄せられました
（期間:2016年4月～2017年2月まで）

コープみらい（本部：埼玉県さいたま市、理事長：新井 ちとせ、事業エリア：千葉県・埼玉県・東京都）は、東日本大震災の被災地の復興を支援するため、『東日本大震災復興支援募金』を2011年3月から続けています。2016年度（2016年4月から2017年2月まで）は、組合員から1,698万8,832円の募金が寄せられました。

『東日本大震災復興支援募金』は、コープみらいの店舗（全133店）および宅配サービス「コープデリ」で実施している募金活動です。今回お寄せいただいた募金は、被災地の福島県生協連、いわて生協、みやぎ生協、コープふくしまによる復興支援活動、仮設住宅にお住まいの方や避難されている方の交流の場「ふれあい喫茶」運営、現地ボランティア活動、被災地の中高生が集う学習支援の場「岩手県山田町ゾンタハウス※1」の運営、「福島の子ども保養プロジェクト※2」の受け入れなどに使われています。

コープみらいでは、「忘れない」「伝える」「続ける」「つなげる」を基本姿勢に、今後も東日本大震災により被害に遭われた方々を支援する活動を実施するともに 、被災地の一日も早い復旧・復興の支援を続けてまいります。

※1　山田町ゾンタハウス（岩手県山田町）
NPO法人「こども福祉研究所」が、2011年9月、岩手県山田町に開設。東日本大震災で被災した中高生が集い、勉強し、軽食を食べてリラックスできる居場所となることを目的に運営されています。コープみらいは開設時から支援を続けています。

※2　福島の子ども保養プロジェクト
原発事故に不安を持つ福島の家族を茨城県など他県に招き、思い切り遊んでもらう取り組み

—『東日本大震災復興支援募金』概要 —

実 施 期 間：通年（2011年3月から実施）
募 金 方 法：宅配サービス「コープデリ」の注文書への任意記入（1口100円、または1口1,000円）
店舗の受付カウンターに設置した募金箱への入金、並びにレジ精算時の任意募金、
組合員施設「コーププラザ」に募金箱を設置
募 金 使 途：今期の募金は、福島県生協連、いわて生協、みやぎ生協、コープふくしまの復興支援活動、「ふれあい喫茶」運営、ボランティア活動、岩手県山田町「ゾンタハウス」運営、「福島の子ども保養プロジェクト」の受け入れなどに使用

≪生活協同組合コープみらい 概要≫
【住　　所】埼玉県さいたま市南区根岸1-5-5
【理 事 長】新井　ちとせ（あらい　ちとせ）
【組 合 員 数】337万人（2017年2月20日現在）
【総 事 業 高】3,803億円（2015年度）
【事業エリア】千葉県、埼玉県、東京都
【ホームページ】http://mirai.coopnet.or.jp/